

かきりある水

ながおかだいよんしょうがっこう

長岡第四小学校

どうやま さおり

四年 堂山 沙織

水といえは、私はふだんたくさんつかって、  
 どこまでも、どこにでもある物だと思って生  
 活してきました。例えば、手洗いの時、お風  
 呂に入る時、トイレに行く時、当たり前の様  
 に水をつかっています。今回、私は浄化セ  
 ンターに行つて、大変な作業をくり返し、ま  
 たない水から、きれいな水にして家に来てい

る事を発見しました。そして、今までそんな  
 事も知らずに、沢山水をつかっていた事を少  
 し悲しく思いました。

浄化センターで一番心に残った事は、び生  
 物の力をかりて、きたない水をきれいな水に  
 する事です。そして、び生物は種類がたくさ  
 んいる事も知りました。例えばクマムシとい  
 うび生物です。クマムシは、青むしのように、  
 くねくねしていました。色はとも白く、美  
 しかったです。

自宅に帰って、さっそくクマムシをしらべ  
てみました。

クマムシは、地球最強生物と言われるそう  
です。海や山、熱帯のジャングルから南極ま  
であらゆる場所に生息している事がわかりま  
した。池やこけの中にもいる事を知り、自宅  
近くをさがしましたが、見つける事はできま  
せんでした。クマムシの学名は、マクロヒオ  
ツスという事を知りました。

クマムシが活発であればあるほど、下水の  
中にいるび生物も活発で活性汚泥の状態も良  
好だそうです。という事は、クマムシがいる  
ことで他のび生物と協力して下水の汚れをど  
んどん食べて下水がとてきれいになるし、  
私のクラスで例えるならば、クレーターのよう  
なとても明るく元気な友人みたいだと思  
いました。クマムシは本幸にすぶいです。

私は、浄化センターを見学してから、水を  
もっと大切に使用しようと思いました。一  
つ目は、水を出しっぱなしにしな  
いと

いう事です。私は今まで、手を洗う時に石け  
 んで手を洗っている間もずっと水を出してい  
 ました。その時は、何とも思わなかったけれ  
 ど出せば出すほど水は汚れてしまふと思いま  
 す。また、浄化センターで気がついたのです  
 が、汚ない水の周りにはハエやゴキブリなど  
 が近よっていて、浄化センターの中も汚なく  
 なってしまふ思いました。なので、水を大切  
 に使おうと思ひます。

ユツ目は、自宅周りのみぞへ側溝という  
 らしいです。きれいにそうじすることです。  
 私の町内は春と秋に近所のおばあちゃん  
 みぞそうじをしています。私もそうじに参加  
 するけれど、泥や葉が沢山、みぞに落ちてい  
 て、たまにレシートも落ちています。ふみが  
 沢山あるまま、浄化センターに流れるとさっ  
 きし、う介した。浄化センターが汚なくな  
 てしまふんじゃないかと思ひました。なので  
 マネからはも、とそうじをしたり、春と秋じゃ  
 なくてもそうじをしようと思ひました。

私は浄化センターに行つて、すごく水につ  
いて興味を持ってたし水を大切につかおうと思  
えました。そして、私の学んだことを学校で  
もひろめて、みんなで水を汚さない工夫をし  
ようと思います。